

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価 所属長名 澤田 一樹
所属 0001051010 秘書課秘書係 担当者 大屋 勝敬
事務事業 02230 表彰・褒章事務 電話番号 0566-71-2201

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	006	行財政運営			
項目（施策）	001	1 9 行財政運営			
施策の方針	001	1 9 行財政運営その他			
事務事業	001	表彰・褒章事務			
事業期間	昭和25年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	市政功労者表彰条例、同条例施行規則、一般功労者表彰及び特別感謝状贈呈要綱、市長賞の交付に関する要綱等				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	発展祭（市政功労者、一般功労者、特別感謝状）、叙勲受章者への祝福、叙勲・褒章・表彰候補者の報告、市長賞交付（各種大会市長賞及び副賞の交付）等

【コスト】

（単位：千円）

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,492	5,028	5,271
事業費	事業費	2,972	2,508	2,751
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,972	2,508	2,751
	人件費計	2,520	2,520	2,520
	正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費		0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	発展祭表彰者（66人） （5/7発展祭実施済） 叙勲受章者への祝福（16人） 市長賞交付（38件） 式典及び講演会入場者数（1,100人） 講演会申込者数（592人）	発展祭表彰者（41人） （5/6発展祭実施済） 叙勲受章者への祝福（23人） 市長賞交付（33件） 式典及び講演会入場者数（1,100人） 講演会申込者数（687人）	発展祭表彰者（35人） （5/12発展祭実施済） 叙勲受章者への祝福（23人） 市長賞交付（33件） 式典及び講演会入場者数（1,200人） 講演会申込者数（1,575人）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和元年 8月16日
11時52分39秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051010 秘書課秘書係
事務事業 02230 表彰・褒章事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		自治体独自の式典として開催し表彰を行っている				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		式典に加え講演会を開催し多くの方が参加できるようにしている				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由						
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		多くの方が参加できるように開催曜日や時間を毎年検討している				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		近隣自治体においても同様な式典を行っており規模は適正である				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	発展祭講演会に多くの方が参加していただくため、平成29年度から休日に開催しています。定員超過の場合は抽選を行います。サテライト会場の設置を検討するなどできる限り多くの方に聴講していただくように人数の調整を行っています。適正規模で実施されているので、今後も継続して実施します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁
令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価 所属長名 澤田 一樹
所属 0001051020 秘書課広報広聴係 担当者 新村 誠
事務事業 02233 広報あんじょう発行事業 電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	002	市民参加及び協働のまちづくりの推進			
事務事業	001	広報あんじょう発行事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	読みやすい広報紙を通じて、市政情報を容易に得ることができる。
手段	市役所各課、関係機関、団体から提出される原稿や広報担当者が独自に取材した内容を、特集・お知らせ・その他のページの記事とします。
事務内容	毎月 1 日・1 5 日の 2 回発行

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	57,086	61,612	67,481
事業費	39,761	42,082	48,266
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	625	626	1,825
一般財源	39,136	41,456	46,441
人件費計	17,325	19,530	19,215
正規（人）	2.75	3.10	3.05
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	広報紙の発行	広報紙の発行	広報紙の発行
	発行部数	発行部数	発行部数
	1,754,900	1,782,800	1,800,000

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02233 広報あじょう発行事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
アンケートによる広報の満足度	%	75.00 78.80	75.00 91.90	75.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市政に関する広報紙であるため			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	2
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
理由		インターネットの普及により、情報ツールが多様化しているため			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
理由		広報紙に対する満足度が高水準を維持しているため			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		特色のある特集記事に取り組んだため			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		発行回数が月1回である自治体が多いため			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	情報ツールの多様化、他自治体の状況を鑑み、令和2年度からの月 1 回の発行に向けて検討します。 検討にあたっては、市民サービスの低下につながらないよう、掲載情報を整理するとともに、レイアウトの構成等により、紙面の見やすさの向上を図ります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02234 ホームページ（望遠郷）事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 新村 誠
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	005	情報化の推進			
事務事業	001	ホームページ（望遠郷）事業			
事業期間	平成 8 年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民、安城市の情報を必要とする人が
目的	ウェブサイトによりいつでも最新の情報を得ることができる。
手段	ウェブサイトにより、多量の最新情報を迅速かついつでも見られるよう提供します。
事務内容	市公式ウェブサイト「望遠郷」の保守・管理 掲載情報の更新

【コスト】

（単位：千円）

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		7,871	8,023	7,398
事業費		3,461	3,613	3,933
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	2,862	2,014	2,400
	一般財源	599	1,599	1,533
人件費計		4,410	4,410	3,465
	正規（人）	0.70	0.70	0.55
その他経費		0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	最新情報の更新	最新情報の更新	最新情報の更新
	更新件数：9,408件	更新件数：9,781件	更新件数：10,000件
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02234 ホームページ（望遠郷）事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
トップページのアクセス件数	千件	1,050.00 1,095.00	1,100.00 1,023.00	1,000.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市の情報を提供するホームページであるため			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	スマートフォンが普及し、手軽にホームページの閲覧ができるため			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	近隣他市と同程度又はより多くの人がホームページを閲覧している			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	スマートフォン用ページでタップによる架電を可能にしたため			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	全ての自治体が行政情報の提供のためホームページを運営している			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	より多くの情報をタイムリーに市民に発信するため、新たな情報を掲載するとともに、適正な更新を行いながら事業を継続します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02235 市政情報提供事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 新村 誠
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	001	1 6 参加と協働その他			
事務事業	001	市政情報提供事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考		平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 市政情報提供事業 ・ マスメディア情報発信事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	様々な媒体から、市政に関する情報を得ることができるようになります。
手段	・ ガイドマップ（日本語版、英語・ポルトガル語版）の作成 ・ 市政映画の製作 ・ 新聞、テレビ等報道機関への情報提供
事務内容	ガイドマップ、市政映画の作成、報道機関との連絡調整

【コスト】

（単位：千円）

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,630	6,298	9,887
事業費		1,535	1,573	3,587
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	12	0	0
	一般財源	1,523	1,573	3,587
人件費計		4,095	4,725	6,300
	正規（人）	0.65	0.75	1.00
その他経費		0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	・ ガイドマップの作成 （増刷）7,000部 ・ 市政映画の制作 1回 ・ 報道機関への情報提供 回数 483回	・ ガイドマップの作成 （増刷）7,000部 ・ 市政映画の制作 1回 ・ 報道機関への情報提供 回数 558回	・ ガイドマップの作成 （日本語版5,000部、 英語・ポルトガル語版 各1,000部） ・ 市政映画の制作 1回 ・ 報道機関への情報提供 回数 500回

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02235 市政情報提供事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市政映画へのアクセス件数	件	500.00 781.00	500.00 757.00	500.00 0.00
市政情報の新聞への掲載回数	回	800.00 778.00	800.00 946.00	800.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	理由	1
		必要性	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
3	理由	有効性	1
		市民からの意見等の実績から市政に関する市民の関心は高いため	
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
4	理由	効率性	1
		事業の効率化・事業費の削減	
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
5	理由	公平性	1
		アプリを使った情報提供を開始し、情報取得ツールを増やしたため	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	電子媒体による情報提供を充実させたため	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	拡充
1 次コメント (4 0 0 文字)	スマートフォンのアプリを活用した情報提供について、令和元年度には提供する情報を分類するしくみを導入し、市政情報の需要と供給のマッチングができるようにします。 また、広報あじょうや市からのお知らせなどを活用してスマートフォンアプリの周知を図り、登録者数の増加に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁
令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02236 広聴事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 新村 誠
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	001	1 6 参加と協働その他			
事務事業	002	広聴事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民の意見・提言等を
目的	施策等へ反映する。
手段	市民からの意見・要望を聴取する機会を設け、市民ニーズを把握します。
事務内容	ご意見BOX（切手不要の専用紙による）、市長への手紙（一般封書、葉書等による）、市長へのメール（ウェブサイトからのメールによる）、市長と語ろう あんトーク、市長とティーミーティング、eモニター制度によるアンケート

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	13,215	10,440	10,451
事業費	1,245	1,305	1,631
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,245	1,305	1,631
人件費計	11,970	9,135	8,820
正規（人）	1.90	1.45	1.40
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	市長と語ろう あんトーク開催回数9 市長とティーミーティング開催回数6 eモニター制度によるアンケート実施回数14	市長と語ろう あんトーク開催回数8 市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数14	市長と語ろう あんトーク開催回数3 市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数14

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和元年 8月16日
11時54分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02236 広聴事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
メール・ご意見ボック ス等の受付件数	件	300.00 443.00	350.00 555.00	350.00 0.00
市長と語ろう あんト ーク参加人数	人	180.00 181.00	160.00 202.00	60.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市政に関する市民からの意見を聴く事業であるため		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市民からの意見の多様化及び件数の増加による		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	メールや手紙による市民からの意見の受付件数が増加しているため		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	e モニターの年間未回答者を整理し、事務の軽減を図ったため		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	市民の声を聴くツールは、他自治体と同程度であるため		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	市長と語ろう あんトーク及び市長とティーミーティングについて、実績を検証し、課題を整理したうえで次年度以降の実施方針を決定します。 e モニターの登録者において、若年層及び高齢者の登録者が少ないため、パバママ教室や高齢者教室など、年代に特化した催し等で周知を図り、登録者数の世代間による差の解消に努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。